

# 報 道 資 料 2007.10.01

件名 海外メディア（日本駐在）を活用し、田辺市の魅力を世界に向けて発信。

発信者 〒646-0035 和歌山県田辺市中屋敷町24-1  
田辺市熊野ツーリズムビューロー（担当：浦野泰之）  
Tel 0739-26-9025 Fax 0739-26-5820

## 概 要

田辺市の観光資源や魅力を世界に向けて発信するため、別紙資料によりプレスツアーを実施します。

事業主体は「KIPPO」で、世界に開かれた国際観光地「田辺市」を創るため、田辺市熊野ツーリズムビューローが全面的にサポートし、海外のメディアを活用した情報発信を行うものです。

お忙しいことと思いますが、この取り組みを取材いただき、広く周知いただければ幸いです。

なお、行程の予定時間は、諸事情により多少ずれることもございますので、ご了承ください。

KIPPO = 関西広域機構 関西広報センター

参考 URL : <http://www.kansai.gr.jp/kippo/index.html>

## 添付資料

海外プレスへの案内文書（日本語版）

## UNESCO 世界文化遺産・精神文化の源郷「熊野」へ

本州の最南端、紀伊半島の中心に位置する和歌山県田辺(たなべ)市は、日本人の精神文化の原点とも言われる「熊野」エリアの核心地である。UNESCO 世界文化遺産「熊野本宮大社」やそれに続く参詣道「熊野古道」をはじめ、歴史ある温泉郷、深い樹林や幻想的な滝など、自然と文化が織り成す魅力があふれる場所。また、天神崎のナショナル・トラスト運動や、世界中で親しまれている武道・合気道の創始者が田辺出身であることもよく知られている。田辺市がめざす国際観光都市像とは、大量集客型観光、いわゆる、“マストゥリズム”の目的地ではなく、“固有の自然や文化と共存共栄するまち”、“目的意識を持った上質な個人および小グループの旅行客が集まるまち”をめざしている。今回の KIPPO プレスツアーは、和歌山県田辺市の魅力を、自然、信仰、愛、癒し...さまざまな角度から紹介する。

### 自然に負荷をかけない“持続可能な”国際観光都市をめざすまち - 田辺市

田辺の魅力や取り組みを田辺市商工観光部長と田辺市熊野ツーリズムビューロー会長が紹介  
熊野を愛する国際観光推進員・Brad Towle が語る、外国人の目から見た熊野の魅力！

### UNESCO 世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」

#### コア・エリア - 「熊野」

1000 年以上前から多くの人びとがめざした信仰の地「熊野」  
何が人びとを「熊野」へと向かわせたのか？  
「熊野本宮大社」とそれに続く参詣道の一つで、最も注目されるルート「中辺路(なかへち)」



### “信仰の長旅”熊野をめざし参詣道を歩いた人びとの癒しの場所 - 「本宮温泉郷」

川湯温泉(川原の温泉)、湯の峰温泉(つぼ湯・入浴可能な唯一の世界遺産温泉)、渡瀬温泉(西日本最大露天風呂)  
宿泊は川湯温泉の純和風温泉旅館「亀屋」で家庭的なおもてなし、自家源泉の湯、熊野薬膳料理を堪能！



### 世界和合の道、愛の道

#### - 世界 90 カ国で約 300 万人が親しむ武道「合気道」

「合気道」の開祖・植芝盛平(田辺市出身)の直弟子道場で、“和合の精神”を体感！  
「第 10 回合気道世界大会」 - 2008 年 10 月、田辺市で開催決定



### 日本の“ナショナル・トラスト運動”の先駆的事例 - 「天神崎」

リゾート開発を阻止し、「天神崎」の豊かな生態系を大切に続ける自然環境保全法人  
「財団法人・天神崎の自然を大切にす会」 田辺市民の自然への熱い思い！

実施日： 2007 年 10 月 4 日 (木) ~ 5 日 (金) (1泊2日)  
10 月 4 日 集合場所:南紀白浜空港(10:30) 10 月 5 日 解散場所:南紀白浜空港(18:00 頃)

参加資格： 外務省発行記者証保持者

ツアー費用：参加者負担：参加費 5,000 円 (羽田 南紀白浜 往復航空旅費を含みます！)  
主催者負担：往復航空旅費、ツアー中(集合場所~解散場所)の移動交通費・旅館宿泊費(1泊)・食費(食事:朝 1・昼 2・夜 2)を主催者が負担。

主催： 関西広域機構 関西広報センター(KIPPO) (問合わせ先) KIPPO 担当:清水、佐藤  
〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51 大阪国際会議場 11F 電話 06-4803-5551

参加申込み: 参加ご希望の方は、申込書に必要事項をご記入のうえお申し込み下さい。申込が 10 社(各社 1 名、TV 局(最大 2 社)は 2 名まで参加可):合計最大 12 名になり次第受付を締め切ります。ご希望の方はお早めにお申し込みください。

## Don't Miss This Chance! 往復航空旅費は、KIPPO が負担します!

今回のツアーは、羽田 南紀白浜（和歌山）間の往復航空旅費を KIPPO が負担します。  
詳細は申込者に連絡します。

(宿泊について)

10月4日(木)の宿泊は、家庭的なおもてなしと、地下わずか8mから汲み上げる自家源泉の湯、郷土料理(熊野薬膳料理)で人気の純和風温泉旅館「亀屋」です。一人一室を確保いたしますが、和式(畳、布団、共同風呂・トイレ等)であることをご了承の上、ご参加ください。

### 取材日程

【2007年10月4日(木)】

10:30 南紀白浜空港集合 (JAL1381 羽田 9:05 南紀白浜 10:15)  
10:45-11:45 UNESCO 世界文化遺産・熊野信仰発祥の地「熊野本宮大社」や参詣道「熊野古道」を擁する田辺市の魅力、取り組み等について  
13:00-15:00 合気道取材 場所: 田辺道場  
15:20-16:20 日本の「ナショナル・トラスト運動」先駆的事例-「天神崎」  
18:00 川湯温泉着(宿泊: 亀屋旅館)  
19:00-20:30 地元関係者との夕食交流会

【2007年10月5日(金)】

9:00-10:00 紀伊山地の霊場と参詣道、熊野エリア等に関する説明 場所: 世界遺産センター  
10:30-12:30 熊野参詣道体験取材  
13:00-14:30 湯の峰温泉街取材(昼食および世界遺産の湯・つぼ湯、東光寺、伝統的和風旅館の風景撮影)  
15:00-15:45 渡瀬温泉(入浴)  
18:00 解散(白浜空港) (解散前に軽食を用意します)  
(JAL1386 南紀白浜 19:20 - 羽田 20:25)

### 取材先概要・ツアーのみどころ

#### 【UNESCO 世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」、コア・エリア「熊野」】

標高1000~2000m級の山脈が四方に走り、年間3000mmを超える豊かな雨量が深い森林をはくむ紀伊山地。山や谷、豊かな自然が織り成す聖なる地には、起源も性質も異なる三つの霊場(自然崇拜に根ざした「熊野三山」、中国から伝来した仏教の真言密教の根本道場である「高野山」、修験道の総本山「吉野・大峯」と、そこに至るいくつかの「参詣道」がある。中でも「熊野」は、紀伊山地のもっとも山深い奥まったところに位置し、古くから神秘的にみちあふれた場所であった。日本では、仏教の伝来とともに神仏習合(日本古来の神々は仏教の諸尊が姿を変えて現れたとする)思想が生まれ、熊野は、その聖地として各地から多くの人びとが訪れた。また、10世紀頃からは、浄土思想の広まりとともに、熊野には「浄土」があると信じられるようになり、貴族から庶民に至るまで身分や性別に関係なく熱心に熊野に詣で、死後の安住や「よみがえり」を祈った。熊野への参詣は平安時代から始まり、江戸時代中期まで盛んに行われたが、常に多くの参詣者が列をなして歩んだことから「蟻の熊野詣」とよばれた。一方で、修験道に励む人たちは、密教の教えに従い、険しい山の小道を選び、苦行しながら熊野三山に詣でた。



【熊野本宮大社】



熊野参詣道「中辺路」

今回の KIPPO ツアーでは、熊野信仰の発祥の地といわれる熊野三山の一つ、熊野本宮大社と、そこに続く参詣道の中で、もっとも多くの人々が歩いたとされる「中辺路」(京都・大阪・和歌山から熊野本宮大社へと続くルート)の要所を取材する。熊野本宮大社に神が祀られたのは約 2000 年前。1889 年の大洪水で社殿の大半が流され、残った社が元の場所(大斎原)から約 800m 北西に位置する現在の場所に移されたが、今も旧社地・大斎原には日本最大級の鳥居が立ち、苔むした石垣が往時をしのばせる。熊野三山へと続く参詣道(通称:「熊野古道」)は複数あるが、全ルートの到達点都在这里大斎原となっていることから、熊野本宮大社が熊野信仰の中心地であることがわかる。ツアーでは、大斎原に到着する直前の「中辺路」の「クライマックス」ともいえる古道(約 1.2km)を実際に歩き、熊野の大自然と歴史に触れながら取材・撮影を行い、多くの古人もさまざまな祈りとともにめざした最終到達点・大斎原をめざす。



## 【世界和合の道、愛の道 - 「合気道」、開祖・植芝盛平】



【植芝盛平の像（扇ヶ浜）】

合気道の創始者・植芝盛平は和歌山県田辺市に生まれ、幼い頃から武道に励み、19歳で修行の旅に出て各流の武術遍歴を重ねつつ、独自の武術を確立した。そして1942年に、その武術を「合気道」と名づけ、国内はもとより世界中にその名を広めた。合気道の技は、相手に触れるやいなや相手の力を利用して、一瞬のうちに相手を制することができる。しかし一般のスポーツや競技武道と大きく異なるところは、合気道は、敵を無理に倒したり、敵を破る武術ではなく、相手と相和して切磋琢磨をはかり自己の人格完成をめざす武道であり世界を和合させる道、それが、愛の道だと言われている。盛平が説いたこの理想は、日本のみならず世界の武道として広く愛され、現在、世界90カ国で約300万人が親しんでいる。

ツアーは、和合の精神を基本とする「合気道」の開祖・盛平の生誕の地・田辺市で、彼の数少ない直弟子の一人が開いた「田辺道場」を取材。「合気道」とは？そして、「合気道」と熊野信仰のかかわり等について解説を受け、上級者による熟練された技を間近で取材撮影する。なお、来年(2008年)には、田辺市で「第10回合気道世界大会」(4年ごとに世界各地で開催)が予定されている。同市では20年ぶり2回目の開催となる。

## 【日本の「ナショナル・トラスト運動」先駆的事例 - 「天神崎」】



【天神崎の夕焼け】

ナショナル・トラスト運動とは、市民から寄金を募り、美しい自然や歴史的建造物を買収し取り保全していく運動のことで、19世紀末、イギリスで市民運動として始まった。同国の沿岸線の美しさはこの運動に負うところが大きいと言われている。

田辺市天神崎は、日本における「ナショナル・トラスト運動」の先駆的事例の地として知られている。森の動植物と海の動植物が、平らな岩礁を挟んで同居し、森・磯・海の3者が一体となって一つの生態系を作っている。市街地に近接しているにもかかわらず安定した豊かな自然が残されているのが天神崎の特徴である。海にはサンゴが約60種も生息し、これは北緯34度近くの海では世界的にも異例の数といわれる。1974年、この天神崎で高級別荘地開発計画が持ち上がる。この計

画を知った有志市民は、市や県に行政の力で開発を抑制するよう陳情するが、行政による解決が困難と分かったとき、天神崎の豊かな自然環境を守るには自分たちでお金を集め、業者から土地を買取るよりほかに道はないと、買い戻し運動に踏み切った。1987年には自然環境保全法人(通称ナショナルトラスト法人)の国内第一号に認定され、現在では行政による買収も含め、天神崎周辺の森林7.1ha(全体の41%)を購入、一帯の自然環境を大切に保存し続けている。今回のKIPPOツアーは、天神崎を訪れ、運動の中心である財団法人「天神崎の自然を大切にする会」の専務理事で、活動当初から中心的役割を担い、市民を取りまとめてきた玉井済夫氏へのインタビュー取材を行う。天神崎のナショナル・トラスト運動に見る、「大規模リゾート開発による環境破壊、環境汚染を阻止したい、そして、自然動植物の宝庫・天神崎を未来の子供に伝え残したい。大切なことは、開発や都会化よりも自然環境保全」という市民の熱い想いに触れる。

## 【癒しの場・本宮温泉郷】

田辺市本宮温泉郷には、日本を代表する3つの温泉(川湯温泉、湯の峰温泉、渡瀬温泉)がある。熊野本宮大社をめざし、長く険しい道のりを歩いてやってきた多くの古人も、これらの温泉で身を清め、疲れた身体と心を癒したと言われている。当ツアーは、「川湯温泉」の純和風旅館に宿泊し、2日目に「湯の峰温泉街」を取材、さらに、2日目熊野古道体験取材後に「渡瀬温泉」で入浴を予定。日頃の疲れを癒し、リラックス、そしてリフレッシュしていただきたい!

### (川湯温泉)

熊野川の支流・大塔川にある川湯温泉は、川底から湯がこんこんと湧き出ることから知られる全国でも珍しい“川原の温泉”である。川原を掘ればどこでも湯が湧くので、夏季は、川の清流で水浴びを楽しみながら同時に自分だけの露天風呂を掘って温泉を楽しむことができる。冬季(11月~2月)には大塔川をせき止めて1000人程度が同時に入れる仙人風呂も開設される。当ツアーの宿泊は、大塔川沿いの川湯温泉を代表する純和風旅館に宿泊予定。わずか地下8mから汲み上げる自家源泉の湯と熊野薬膳料理が人気の宿。



【川湯温泉（川原の温泉）】



【湯の峰温泉】

(湯の峰温泉)

1800年前に発見されたという山峡の歴史ある温泉地で、日本で最も古い温泉の一つ。「熊野詣」が盛んだった頃には、湯垢離場(参詣前に体の汚れを清める場所)としてにぎわい、本宮温泉郷の中でも特に熊野信仰と縁の深い温泉と言える。もうもうと湯煙を上げる湯の谷川が温泉街の真中を流れ、両岸には古くからの旅館や民宿が立ち並び風情が感じられる。歴史ある温泉旅館「あづまや」や、湯の峰温泉のシンボルで、世界唯一の入浴可能な世界遺産温泉「つぼ湯」(小さな小屋の中にある壺型をした浴槽で、この湯は一日に7回色を変えることがある不思議な湯として知られている)、温泉の湯の花が高さ3mまで堆積して化石となり、その造形物を本尊として祀る寺「東光寺」、地元の人や観光客に親しまれる源泉の共同炊事場「湯筒」など、湯の峰温泉街のメインスポットを取材予定。

(渡瀬温泉)

山間の小さな平地に開けた温泉郷。熊野川の支流四村川が蛇行して流れ、のどかな雰囲気漂う。西日本最大の露天風呂と家族風呂がある。2日目行程最後に立ち寄り、入浴を予定。

\*\*\*\*\*

## 第68回 KIPPO プレスツアー参加申込書

FAX : 06 - 4803 - 0570

氏名：(漢字表記) \_\_\_\_\_ (男 or 女)

(ふりがな) \_\_\_\_\_ ふりがなと英語表記もご記入下さい。

(英語表記) \_\_\_\_\_

会社名： \_\_\_\_\_ 国名： \_\_\_\_\_

外務省発行記者証 ID No: \_\_\_\_\_ / 使用言語：(日本語 / 英語)

電話： \_\_\_\_\_ / FAX: \_\_\_\_\_

E-mail: \_\_\_\_\_

携帯電話(ツアー当日の緊急連絡用)： \_\_\_\_\_

宿泊旅館でのインターネットアクセス(ワイヤレスLAN)： 要 ・ 不要

事前資料送付先住所： 〒 \_\_\_\_\_

\* 参加申込者には、KIPPO から詳細事項を連絡します。申し込み後 24 時間以内に、ツアーに関する連絡がない場合は、KIPPO にお問い合わせください。お申込が届いていない場合があります。

\* 関西広域機構 関西広報センターは、このプレスツアー実施中に発生するいかなる事故、不都合などに対して一切の責任を負いません。また、取材当日の天候、交通事情などにより取材スケジュール(コース)が一部変更になることもありますのでご了承ください。